

情報公開文書

(S25-17)

研究課題名	重症敗血症/敗血症性ショック有病率に関する一日世界的横断研究
研究期間	研究日 2013年11月7日(午前0時から24時まで)に救急または集中治療室に入室した重症敗血症または敗血症性ショックの患者で条件をすべて満たした患者さんを対象とします。
研究の目的と意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界中の集中治療室で治療する敗血症、重症敗血症、敗血症性ショックの発生率を知ることで、敗血症による世界的な負担を推定する。</li> <li>・市中病院と大学病院で SCC の敗血症ガイドライン遵守率を測定し、臨床現場での敗血症治療の差を評価する。</li> <li>・敗血症、重症敗血症、敗血症性ショックの予後への影響を評価する</li> <li>・国際的な臨床研究を行う際に、患者予後に関し有意差を出すために必要な患者数を推定する。</li> </ul>
研究方法	治療には全く介入しません。施設情報、普段測定する検査値(血液検査、動脈血ガスなど)、治療方法などのデータを利用させていただきます。経過を30日間追跡調査し、12月7日に終了します。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	特別な資料は利用しません。ドイツに設けられる安全を確保したサーバーに世界中のデータが集められますが、個人を特定するようなデータは収集しません。匿名化したデータベースとなります。本院でのデータは30日間の追跡調査後、データの正確性が確認され次第破棄します。ドイツに送られたデータは解析のため1年間保存されます。学会・科学雑誌で全体の結果を発表します。
問合せ先	<p><b>【研究責任者】</b></p> <p>京都第二赤十字病院 救命救急センター</p> <p>医 長 檜垣 聡</p> <p>〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5</p> <p>TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)</p>